

# 環境賞受賞、拡販加速

## 全国防草ブロック 会員社38社に拡大

全国防草ブロック工業会(会長 矢野明正氏)は、6月7日、名古屋市のアパホテル名古屋錦で第2回総会を開催した。総会では第一部で議案審議を行い、平成24年度事業報告・会計報告、平成25年度事業計画案・予算案が原案通り可決承認された。また第二部では被災地報告や講演会が行われた。同工業会には新たに9社が入会、会員社は38社になった。



矢野会長

●総会・第一部く優れた防草性能をPRして積極的な営業展開を

総会の冒頭挨拶した矢野会長は「昨年29社で発足した当工業会はこの一年で会員社が38社に増えた。多くの企業に我々の防草技術に関心を持っていただき嬉しい限りだ。期待に応えるよう組織強化と会員各社の業績につながるような運営を心がけたい。防草ブロックは15年ほど前に開発者の石川繁氏から製品化に

ついて協力依頼があったのがきっかけだ。その後、防草ブロック東海支部を立ち上げ今までに100回以上の会合を重ねながら防草ブロックのPRを続け、今では国交省愛知国道事務所の基本設計に入っている。会員社も増え、防草ブロックがこれまでも増してスベックインされることを期待したい」と述べた。

また矢野会長は日本雑草学会(会長 松本宏筑波大学教授)に団体会員として入会したことを報告し「日本雑草学会は農業分野で雑草学の確立を目指しており、会長が筑波大学の松本宏教授、副会長が京都大学の富永達教授という国際的な学術組織だ。当工業会と関係の深い名古屋大学の北野英己教授のご尽力も大きいですが、雑草が生え

ない技術への評価もあったのではない。5月には防草ブロックの技術が、日立環境財団などが主催し環境省が後援する環境賞・優良賞を受賞した。優秀賞には日本郵船・日本航空・サントリーが名を連ねており、我々にとっても大きな励みとなる受賞だ。受賞にあたり『草の成長特性を逆手に取ったコロンブスの卵的発想で、既に多くの実績を重ねている素晴らしい技術』との講評を日本を代表する

大学や研究機関の先生方から頂いた。工業会としてまた会員社にとっても大変喜ばしく、防草ブロック製品の普及が加速することを期待したい。是非、こうした優れた点をPRして他社技術との差別化を図り各地域で実績を伸ばして欲しい」と述べた。

議案審議は矢野会長を議長に選出して進められ、平成24年度事業報告・会計報告、平成25年度事業計画案・予算案が原案通り可決承認された。

同工業会では今期、未加盟20府県を中心に新規加入社の促進を図る他、関係学会への団体加盟・防草ブロック販売促進におけるタ



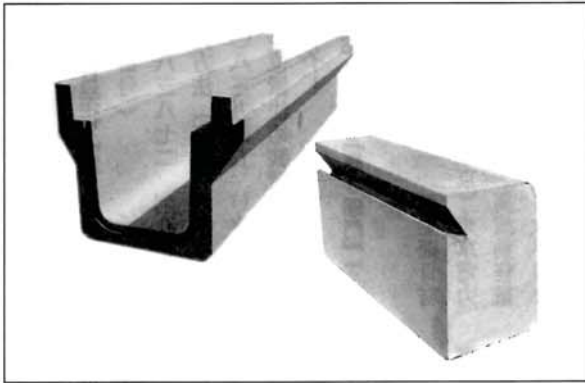
総会には42名が出席した

して報告。また防草研究会の石川重規氏が防草ブロックのメカニズムや販促に向けたタグライン、受賞した日立環境財団・環境賞などについて説明した。さらに講演会では名古屋大学生物機能開発利用研究センター・北野英己教授が「環境問題と防草の科学」と題して講演した。

このうち舟田氏は報道されることの少ない仙台以南の沿岸部の状況について昨年7月、東北大学井上範夫教授に同行視察した時の画像を中心に報告した。舟田氏によると、この地域は津波が国道6号線まで到達し、沿岸部を通るJR常磐線は多くの場所ですべてが流されるなど深刻な被害を受けた。舟田氏は「沿岸部は軒並み1m以上地盤沈下を起しているため復旧が遅れており、海水が流入しないよう消波ブロックが置かれている以外、被災当時と状況はほとんど変わっていない」と述べた。沿岸部が必要とされる消波ブロックは約36万個と言われ、このうち10万個程度が被災現場に施工された。また福島県沿岸部の状況について舟田氏

### ●第二部

第二部では坂内セメント工業社長の舟田詔光氏が「震災!その後東北地区の現況について」と題



防草ブロック

「防草ブロックは環境負荷の面から最も理想的な着想で出来上がった製品」と評価した上で、「例えば農業は一見すると無駄なエネルギーを使うと環境負荷が少ないと思うか」と述べた。

講演した北野教授は防草ブロックについて「環境負荷の面から最も理想的な着想で出来上がった製品」と評価した上で、「例えば農業は一見すると無駄なエネルギーを使うと環境負荷が少ないと思うか」と述べた。

「環境負荷が少なく、環境問題を考えて、我々が解決しなければならぬ課題を理想的に解決していると言える。だが製品である以上、将来的に改良や新しい手法を検討していくことも必要だ。今の技術では実現が難しくても、いろいろなアイデアを出し合うのは楽しいものだ。ブロックの素晴らしさを世の中に広めて行くと同時に次の手を打つこともやって欲しい。そのためならいつでも協力したい」と述べた。

は「放射能問題で岩手・宮城両県に比べ復旧は非常に遅れ、ほとんど手つかずの状態」と報告した。

石川氏は環境賞受賞について「審査委員長の合志洋一郎国立環境研究所副所長をはじめ審査員はそうそうたる顔ぶれで、そういう賞を受賞したことに自信を持って防草ブロックの普及を進めて欲しい」と述べた。

開発が必要との考えを示した。そして「防草ブロックは環境負荷がほとんどかからない。雑草反応が抑えられると言うことは除草に必要なエネルギーが不要ということ、今使われているブロックの構造を変えるだけで環境負荷低減が実現できる。環境問題を考えて、我々が解決しなければならぬ課題を理想的に解決していると言える。だが製品である以上、将来的に改良や新しい手法を検討していくことも必要だ。今の技術では実現が難しくても、いろいろなアイデアを出し合うのは楽しいものだ。ブロックの素晴らしさを世の中に広めて行くと同時に次の手を打つこともやって欲しい。そのためならいつでも協力したい」と述べた。

## 平成25年度「環境賞」を受賞しました

【主催】日立環境財団・日刊工業新聞社、【後援】環境省

私たちの防草ブロック技術は環境賞「優良賞」に選ばれました

### 雑草が自ら成長を止める 「次世代ブロック」

NETIS#  
CB-050041-V

「震災復旧・復興支援に資する技術」として、NETISへの登録製品です。

貢献度あつら

- 【北海道】  
山田産業(株)
- 【青森・秋田・宮城・福島】  
㈱坂内セメント工業所
- 【岩手】  
一沢コンクリート工業(株)  
㈱坂内セメント工業所
- 【山形】  
工藤コンクリート(株)  
㈱坂内セメント工業所
- 【群馬】  
太陽コンクリート工業(株)  
トキワコンクリート工業(株)
- 【栃木】  
㈱坂内セメント工業所  
平渡コンクリート工業(株)
- 【茨城】  
千葉窯業(株)
- 【東京】  
豊国コンクリート工業(株)

- 【埼玉】  
柳沢コンクリート工業(株)  
大和コンクリート工業(株)  
藤沢コンクリート(株)  
ヤマケイブレコン(株)
- 【千葉】  
三洋コンクリート工業(株)  
千葉窯業(株)
- 【神奈川】  
豊国コンクリート工業(株)  
岡村建興(株)
- 【静岡】  
平和コンクリート工業(株)
- 【長野】  
㈱高見澤  
㈱丸治コンクリート工業所
- 【愛知】  
矢野コンクリート工業(株)  
カネヤス建材工業(株)  
大有コンクリート工業(株)  
平和コンクリート工業(株)

- 【岐阜】  
㈱丸治コンクリート工業所  
協和コンクリート工業(株)  
矢野コンクリート工業(株)  
カネヤス建材工業(株)
- 【三重】  
平和コンクリート工業(株)  
拓植コンクリート工業(株)  
矢野コンクリート工業(株)  
カネヤス建材工業(株)
- 【滋賀】  
平和コンクリート工業(株)  
協和コンクリート工業(株)
- 【兵庫】  
カサイコンクリート(株)  
山陰コンクリート(株)
- 【鳥取】  
和光産業(株)  
㈱ホクコン

- 【島根】  
㈱イズコン  
和光産業(株)
- 【香川】  
㈱カンケン
- 【徳島】  
㈱カシハラ
- 【福岡】  
下村コンクリート工業(株)
- 【沖縄】  
沖縄県コンクリート二次製品(協)
- 【賛助会員】  
㈱中野工業所(福岡)  
㈱フォーテック(石川)  
森山工業(佐賀)  
㈱大地(石川)  
㈱三秀(三重)
- 【顧問】  
防草研究会(愛知)

日本雑草学会  
団体会員

### 全国防草ブロック工業会

豊田市田初町広久手614-184 ㈱矢野コンクリート工業内(井浦・江森)  
TEL (0565)43-3700 FAX (0565)43-1855 Mail: iura@yanocon.co.jp

会員募集中